

医療用器具製造工場のクリーンルーム空調へ蓄熱システムの導入

医療用ゴム栓・器具などを製造するこの工場では、24時間操業で医療用器具の製造をクリーンルームで行なっており、その空調には高い信頼度が求められています。そのため、空調システムの導入にあたっては、システムの信頼度を第一に考え、蓄熱システムを採用いたしました。さらに、初期投資を軽減するために、お客さまに代わって電力会社で高効率ターボ冷凍機や潜熱蓄熱槽など冷暖房に必要な熱原則のシステムを設置・所有して運転・保守もあわせて行い、空調に必要な冷熱を供給する蓄熱受託サービスを利用しました。

この結果、割安な夜間電力の活用が可能となり、コスト面で期待どおりのメリットが出ました。さらにメンテナンス等のアウトソーシングも可能となり、管理業務の省力化を実現できました。

改善効果

- 初期投資の軽減
- メンテナンスにかかる手間の軽減
- 効率的・経済的な熱源運転の実現
- ランニングコストの低減

電気料金割引額：約1,640万円／年

- ・産業用蓄熱調整契約割引額：約870万円／年
- ・ピーク時間調整契約割引額：約770万円／年

設備概要

- 熱源機能力：ブライントーボ冷凍機 1,350kW×1台(蓄熱専用)
ターボ冷凍機 1,993kW×1台
- 潜熱蓄熱槽：300m³×1基

※1 蓄熱受託制度とは？

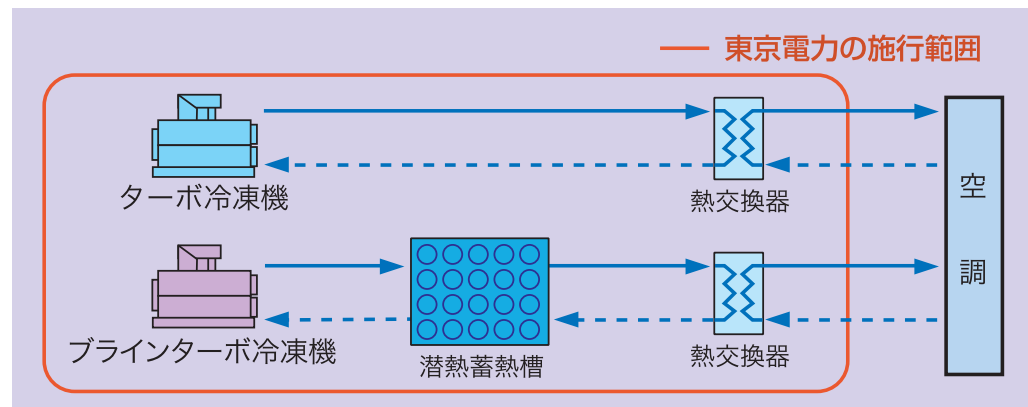
熱源設備、運転・保守に要する経費を蓄熱受託料金として毎月均等で契約期間中支払うサービス

(注) 蓄熱受託サービスが行われていない地域もあります。詳しくは、お近くの電力会社にお問い合わせください。

また、受託会社により扱いが異なりますのでご確認ください。

※2 締結いただけるとご契約(メニュー)の詳細につきましては、各電力会社にご確認ください。

システム図



蓄熱受託サービス範囲の例

